



コンパス住吉台

事務局連絡先 070-1287-8026

compassumiyoshidai_017@softbank.ne.jp



住吉台中学校区
学校支援地域本部だより

平成 28 年 11 月 22 日発行
NO.6



中学校



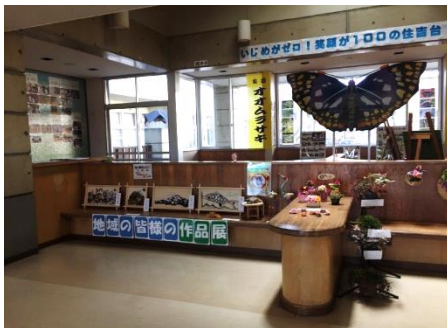
★ 地域の方の作品展示会 ★

コミセンで開催された「住吉台文化祭」に出品された地域の方々の作品を 11 月 8 日（火）～11 日（金）まで、中学校でも展示しました。

この催しは、中学生にも地域の方々の作品を見てもらう、また作品展を通して地域の方々に中学校に足を運んでもらうという目的から始まり、今年で 7 回目となりました。

中学校のコモンホールが素晴らしい作品で飾られて、華やかな異空間に変身し、中学生も興味津々な様子がかげえました。

出品者の皆さま、毎回ご協力いただいている連合町内会文化厚生委員会の皆さま、ご協力本当にありがとうございました。



★ コミセン清掃 ★

10 月 23 日（日）、秋のコミセン一斉清掃が行われ、中学生ボランティア 5 名が参加しました。

体育祭の翌日ということもあって、参加人数は少なかったのですが、テーブルやイスを運ぶ力仕事をてきぱきとこなしていました。





★ オオムラサキクラブ ★

10月25日(火)、地域のオオムラサキ会の方にご指導いただき、オオムラサキの幼虫が越冬しやすいようにエノキの根元に落ち葉をいれました。葉っぱについている幼虫はだんだんにエノキの根元に降りていき、落ち葉の中でひと冬過ごします。

葉っぱについている幼虫をオオムラサキ会の方とクラブ員とで数えると、なんと51匹見つけることができました。来年の春が楽しみです。



★ 3年生 オオムラサキの学習 ★

11月15日(火)、3年生はオオムラサキの幼虫の越冬について、オオムラサキ会の4名のゲストティーチャーの方からお話を伺いました。

幼虫は越冬中ならばマイナス20度の気温でも凍らないこと、でも、春先に一度でもエサを食べてしまうと、再びマイナスの気温になった時には凍ってしまうことなどを学習しました。越冬についてのお話を聞いた後は、ハウスに入って落ち葉に付いている幼虫を確認しました。3年生は会の方たちにオオムラサキや越冬について、時間の許す限り質問をしていました。



★ 5年生 脱穀体験 ★

10月28日(金)、5年生が9月末に収穫し、天日干ししていた稲を脱穀しました。今回の脱穀体験には萱場地区の6名の方にご協力いただきました。

脱穀の方法は新旧2種類を体験。ひとつは昔からある足踏み式の脱穀機を使って、もうひとつは脱穀用のハーベスタという機械を使って行いました。

足踏み式は逆回転してしまうこともあるので、萱場地区の方に一緒に漕いでいただきました。回転するドラムに稲束をあてると、もみがはずれていき、手元には稲わらだけが残ります。一方、ハーベスタは、稲束をベルトコンベアの部分に乗せると、もみは袋に落ち、稲わらのみがベルトコンベアに乗って出てきます。5年生は「楽しい!」「もっとやってみたい!」と目を輝かせながら、2種類の脱穀を体験していました。

